

# 「絆・連携で安心して住める地域社会をめざして」

## 第69回九州地区地域婦人大会(沖縄大会)

### 平成29年度 全地婦連九州ブロック会議

平成29年10月14日(土)・15日(日)の2日間リザンシーパークホテル谷茶ベイと沖縄科学技術大学院大学を会場に、九州8県から会員600名余が参加して開催された。

1日目は開会行事で主催者あいさつ平良菊会長、全国婦人団体連絡協議会柿沼トミ子会長につづき、祝辞を翁長雄志県知事・新里米吉県議会議長から、歓迎の言葉を平敷昭人県教育長から頂いた。前年度処理報告を前年度開催県の熊本県婦人団体連絡協議会棚橋泰子会長が行い、14時20分から4つの分科会討議が各会場で行われた。

18時からの交歓会ではパワフルな各県会員が競って得意の芸能で舞台を盛りあげた。

2日目は沖縄科学技術大学院大学で施設見学の後、「沖縄から世界へ」～世界最高水準の大学をめざして～と題して大学院大学照屋友彦氏の講演、その後分科会報告、シンポジウム、全体討議などが行われた。

2日間にわたる運営には、県内の多くの会員が活躍した。分科会役員として理事など13名、受付、案内、会場整理、プラカード係・講師対応等宮古・八重山会員も協力、特に会場の恩納村婦人会は事前準備から当日の細部に配慮したボランティアで積極的に動員協力した。また、分科会の講師・助言者にも殆ど県内の専門分野から派遣された。8年ぶりの大事業は会員の協力で無事終了した。



開会行事：国歌斉唱・全地婦連の歌

## 沖婦連会報

# でいご

発行 (一社) 沖縄県婦人連合会  
発行者 平良 菊  
那覇市大道172  
電話 098-884-5333  
FAX 098-884-5343  
編集 広報部

### 1日目 リザンシーパークホテル

#### 分科会テーマ

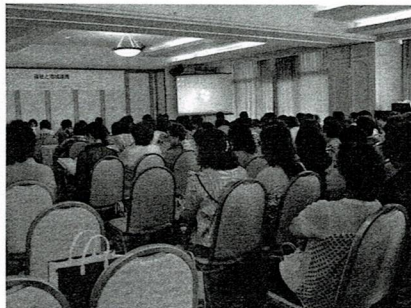
- 第1分科会：組織と防災・減災
- 第2分科会：青少年の健全育成
- 第3分科会：福祉と地域連携
- 第4分科会：健康寿命の延伸



開会前ミーティング：全地婦連柿沼会長が激励



交歓会



分科会会場



分科会役員打ち合せ会議

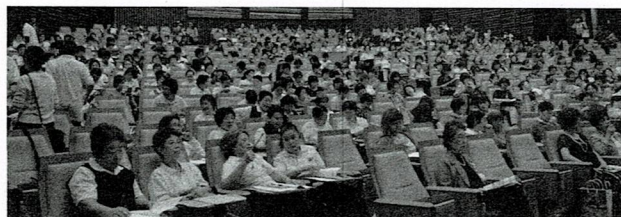
### 2日目 沖縄科学技術大学院大学



2日目開会前



講演会：照屋友彦氏



講演開始前の科学技術大学院大学講堂内



大学構内の見学会



平成30年度開催は宮崎県です



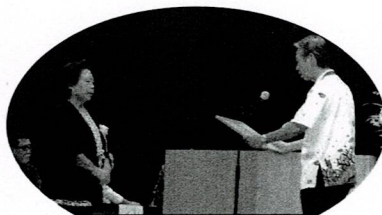
九州各県の皆様有難うございました

# 第50回 婦人の主張中央大会

日時：平成29年9月19日（火）  
場所：沖縄市民会館中ホール



会長あいさつ：平良菊



県知事賞：永山敏子さん

十二名の発表者には協賛企業の沖縄電力（株）・オリオンビール（株）・沖縄食糧（株）・沖縄ツーリスト（株）・沖縄ハム総合食品（株）から豪華な賞品が送られた。

発表後津留健二審査員長から講評と成績発表の後、各賞の表彰が行われた。

入賞者六名の原稿は後日琉球新報にも掲載され多くの県民にも感動をあたえた。

平成二十九年度「婦人の主張中央大会」が主催沖縄県婦人連合会・（株）琉球新報社・（株）ラジオ沖縄・沖縄テレビ（株）後援沖縄県・沖縄県教育委員会で開催された。

## 県知事賞

### 「苦難の坂を乗り越えて」

八重瀬町 永山 敏子さん

宮古地区、八重山地区を含む県内六地区の予選大会で選ばれた代表十二名による発表は婦人会活動を通して地域と繋がる喜びや障がい児を持つ子育ての悩み、沖縄の伝統的な食文化、地域のつながりの大切さ、婦人会仲間の助けで子育ての苦勞を乗り越えた事など身近なテーマで満員の聴衆に感銘をあたえた。

### ◆県知事賞

永山 敏子（八重瀬町）

### ◆県教育長賞

田中 泰子（沖縄市）

### ◆県婦人連合会長賞

石垣 牧子（石垣市）

### ◆琉球新報社長賞

崎山 久枝（浦添市）

### ◆ラジオ沖縄社長賞

上原 長子（那覇市）

### ◆沖縄テレビ社長賞

安部 綾乃（八重瀬町）

### ◆努力賞（発表順）

字根 悦子（石垣市）

大城 ちえ子（宜野湾市）

藤田 香苗（大宜味村）

比嘉 祐里（伊江村）

仲里 千代子（宮古島市）

平良 美由紀（宮古島市）

## 平成30年度 主な事業予定

- 中央婦人宿泊研修 5月19日（土）・20日（日）  
リザンシーパークホテル谷茶ベイ
- 健康づくりフェスティバル 7月8日（日）  
宜野湾市立体育館
- 第51回 婦人の主張中央大会 9月19日（水）  
琉球新報ホール
- 全琉婦人芸能大会 11月11日（日）  
浦添市てだこホール

## おきでん対話

### 各種沖縄電力の取り組みを学ぶ

沖縄県婦人連合会と沖縄電力（株）の懇談会が29年12月6日（水）11時30分から、沖縄ハーバービューホテル2階白鳳の間で行われた。

沖電は社長（大嶺満）他副社長等役員11名の他担当部署の代表などが、婦連からは県内6地区会長と理事が参加した。社長と婦連会長の挨拶につき、参加者の自己紹介。沖電の事業活動について、配電線路の無電中化、台風対策の取り組みが報告された。昼食を挟み、婦人連合会からは、地震津波対策の件・電気料の値下げの件・街灯設置場所の件他多くの質問がだされた。



## 温故知新

### 歴史に学び 今を見つめて 文化のまつり

#### 第65回全国地域婦人団体研究大会

10月26日（木）・27日（金）に鳥根県民会館で開催された全国大会に、平良会長他20名の参加で、25日～3泊4日のツアーを楽しんだ。

1日目は特別講演「出雲の魅力」の後、環境問題、女性の問題、人づくり、領土問題、地域防災の5分科会に分かれた。2日目の開会行事では内閣府、文部科学省、厚生労働省、鳥根県知事等の祝辞。アトラクション石見神楽で壮大なスケールの「大蛇」が披露された。

沖婦連20名は出雲大社・鳥根城・鳥取砂丘等の観光も楽しみ、九州大会の疲れも癒した。

平成30年度は岐阜県で10月4日（木）5日（金）に開催される。



## 沖交母交通安全

### 県内一斉キャンペーン

平成29年8月30日（水）10時30分から「交通安全は家庭から」の活動指針で交通事故防止と交通安全の普及啓発に取り組む沖縄県交通安全母の会連絡協議会は、県内6地区で交通安全一斉運動のキャンペーンを実施した。

各地区では関係機関と協力して、特色ある啓発活動を展開、各地区の会場でセレモニー後交差点や大通りで多数の会員が県民に交通安全を呼びかけた。



中部地区：セレモニー後啓発活動

- 北部地区：名護市 許田 道の駅前
- 中部地区：宜野湾市 伊佐交差点
- 那覇地区：県民広場
- 南部地区：マックスバリュウ八重瀬店前
- 宮古地区：サンエーターミナルショッピングセンター前
- 八重山地区：JA八重山支店向かい

# ～華やかさ競う～

## 第39回 全琉婦人芸能大会

毎年恒例の全琉婦人芸能大会は、浦添市婦人連合会の「かぎやで風」で幕開けに、県内6地区の代表と協力出演のおきなわ結舞踊・浦添警察崎原永克署長等13演目で華やかに満員の観客を楽しませた。この舞台は沖縄テレビ8チャンネルで平成30年1月20日(土)午後4時7分から5時に放映された。

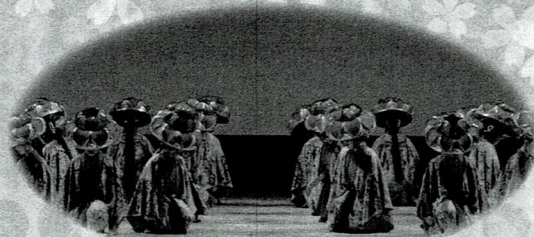
と き 平成29年12月24日(日) 15時開演  
 と ころ 浦添市てだこホール  
 主 催 (一社)沖縄県婦人連合会  
 沖縄テレビ放送株式会社  
 後 援 (株)琉球新報社 (株)ラジオ沖縄  
 特別協賛 沖縄食糧(株)  
 協 賛 沖縄電力(株) 沖縄ハム総合食品(株)  
 オリオンビール(株)



浦添市婦人会「かぎやで風」



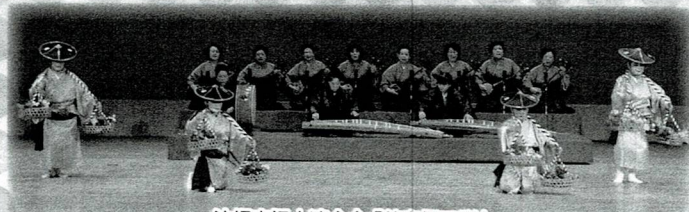
司会：アイモコ



伊江村婦人会「四つ竹」



宮古地区婦人連合会「なますぬぐう」



沖縄市婦人連合会「若衆揚口説」



那覇市婦人連合会「しゅんどう」



石垣婦人会「かたみ節・殿様節」



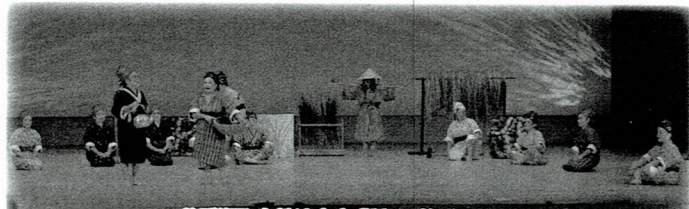
読谷婦人会「揚作田節」



粟国村女性連合会「草戸節」



崎原浦添警察署長「ガードレールに花添えて・他」



八重瀬町女性連合会「稲しり節・汗水節」



那覇市婦人連合会「三見情話・春ぬ山原」



おきなわ結舞踊「沖縄に恋したら・他」



第39回 全琉婦人芸能大会

## 沖縄県結核予防婦人団体連絡協議会 複十字シール運動

毎年全国の結核予防婦人団体連絡協議会は一斉に8月1日を普及活動第1号として県知事訪問を位置づけ、複十字シール普及活動を始めます。

結核は過去の病気ではなく、時代の変化で新たな問題も生じている現状等の啓発活動として、街頭キャンペーンとシール募金活動が大きな柱になっている。

9月27日(水)は県民広場で県結核予防会(健康づくり財団)と協力して県内の多数の会員がセレモニーに参加。沖縄市婦人連合会会員が勇壮なエイサーでアトラクションを盛り上げた。

平成29年度も結核予防週間に合わせて、県婦連の役員等が県内



複十字シール企業募金贈呈：琉球銀行

企業・事業所などを訪問して、募金の協力を依頼している。

1月6日(月)琉球銀行から平成29年度の贈呈式を県婦連の理事・役員と健康づくり財団の大城善広渉外推進室長・宮城いずみさんも同席して行った。職員の皆さんのから集めた貴重な募金に感謝した。

平成30年度結核予防複十字シール普及活動が9月から実施される予定。

## 市町村だより

### 婦人会パワーで島を盛り上げよう!

伊江村婦人会長 友寄 り子



伊江村婦人会の活動は、毎年4月に開催される「伊江村一周マラソン大会」の給水ボランティアへの参加で始まります。それから「ゆり祭り」でオープニングを飾る踊り、美化コンクール、婦人の主張大会、老人ホーム慰問と活動を展開しています。

その中で、今年度の活動の目玉は、6年ぶりの全琉婦人芸能大会への出場です。9月に入り、演目、踊り手の構成人数を決定し、10月から週2回の本格的な練習に励みました。練習を重ね、本番の5日前にリハーサルとして、村内に向けた「お披露目会」を開く事が出来ました。いよいよ本番を迎えました。ワクワクドキドキいよいよ本番です。祈る気持ちで「四つ竹」の舞を見ました。練習を積んできた踊り手達は、見事に踊ってくれました。

会長として5年目の貴重な体験でした。

踊り手の皆様、指導に当たった皆様、そして、村執行部、そして練習会場を提供して頂いた地域の区長、書記さん等多くの方々の協力のもと

「全琉婦人芸能大会」を終える事ができました。

みんなで頑張った先には、婦人会活動の醍醐味を感じる瞬間がありました。

伊江村婦人会は、今年度創立70周年目の節目をむかえました。「継続は力なり」の信念で活動を展開してこられた先人たちに敬意を表し、来年度70周年記念式典を行う予定です。「記念事業」の成功へ向けて、会員、役員一同共に頑張ります。

伊江村婦人会のキャッチフレーズは、「婦人会パワーで島を盛り上げよう!」です。

今後も、他の市町村が実践する活動から刺激を受け、活動の原動力とし、皆様と共に歩を進めて生きたいと思っています。

ゆりの香りに包まれる「伊江島ゆりまつり」へどうぞお越しください。

待ってま〜す



### 継続は力 読谷村婦人会の底力

読谷村婦人会会長 比嘉 洋美



我が読谷村婦人連合会は大正3年沖縄県の婦人会発祥の地で、平成26年に100周年記念式典を盛大に終えた会員600名余の婦人会組織です。これまで諸々の事業も時代と共に改善すべきものは見直し継続すべきものはずっと引き継がれて、現在は会員が負担無く楽しく出来る様にと活動しています。

今年度の主な行事は11月に行われた2年に一度の演芸のついでに年々観客を魅了する演技に是非是非他市町村の方に絶対見て欲しいと自信持って言えます。それと同時に12月に行われた全琉婦人芸能大会には、読谷村から波平婦人会が出演して見事に踊りました。

「でいご」に読谷村婦人会活動の自慢などの内容をと原稿依頼があり、さて?何が自慢出来るだろう?といろいろ引っ張り出して調べて見ますと、10年区切りで発行される縮小版「読婦だより」がこれまで3冊、2年後に40周年の4冊目が発行される予定です。

昭和54年6月に第1号の記

念すべき発刊から私が会長を引き受けた29年度の読婦だよりがちょうど100号だったとは、この原稿をまとめながら気づきました。記念すべき100号は単なる偶然ではなく身に余る光栄だと感謝で一杯です。これまでの総集編に目を通して見ますと現在も続いている読谷まつりでの婦人会の群舞「踊りクワディーサ」「貫花」各自治会婦人会長の「かぎやで風」等は圧巻です。こうして色々な体験活動が出来るのも地域の活性化に婦人会組織が担っていることは間違いありません。趣味や自分の好きなことだけに没頭するのも有りではありますが、それ以上に婦人会は沢山の人のとの出会い、学び、自分自身の成長に実感して頂くことをお勧めします。

ある講演会で自分の為だけでなく誰かの為にやり遂げる事が一番だと閉めていました。

読谷村婦人会のこれからも活性化を期待して。

